

船舶事故調査報告書

平成25年4月25日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	衝突（消波ブロック）
発生日時	平成25年2月3日（日） 14時40分ごろ
発生場所	山口県岩国市岩国港第2区 岩国市所在の由宇港由宇1号防波堤灯台から真方位348° 4.4海里付近 （概位 北緯34° 06.9′ 東経132° 12.1′）
事故調査の経過	平成25年2月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	プレジャーボート しおかぜ、5トン未満 291-30624山口、大邦工業株式会社 7.65m (Lr) × 2.23m × 0.69m、FRP ディーゼル機関、95.62kW、平成2年12月
乗組員等に関する情報	船長 男性 71歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和49年8月23日 免許証交付日 平成20年10月23日 （平成26年3月29日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	右舷船首外板に破口を伴う擦過傷等
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、岩国市端島沖で知人の船と合流し、投錨して釣りをしたのち、平成25年2月3日14時00分ごろ、端島沖の釣り場を発して帰途につき、岩国港第2区を西北西進中、定係地近くの消波ブロック（以下「本件消波ブロック」という。）に衝突した。 本件消波ブロック付近で釣りをしていた人は、14時40分ごろ「ドン」という音を聞いたのち、船首だけが浮いている本船を認めて事故の発生を知り、14時54分ごろ118番及び119番通報をした。 船長は、15時40分ごろ消防のダイバーにより転覆した本船の船橋から収容され、病院で死亡が確認された。

	船長の死因は、溺水と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の初期
その他の事項	本船は、遠隔操縦装置のクラッチレバーが前進、スロットルレバーがHighに入っていた。 船長は、長袖シャツ、綿の入った上下一体型のつなぎ及び防水タイプのジャンパーを着ており、救命胴衣を着用していなかった。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 本船は、岩国港第2区を定係地に向けて西北西進中、本件消波ブロックに衝突したものと考えられるが、船長が死亡したため、本船が消波ブロックに衝突するに至った状況を明らかにすることはできなかった。 船長は、本船が転覆した際、船橋から脱出できなかったものと考えられる。 船長の死因は、溺水であった。 船長は、本船が転覆して船橋から脱出できず、溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が、岩国港第2区を定係地に向けて西北西進中、本件消波ブロックに衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・入港時には状況に応じ、早めに減速しておくこと。